

「お客様の笑顔をよく覚えておけ」と言われたんです。人に喜んでもらうことをするのが商売だ、と。そうして、仕事への向き合い方を教わり、また、お花と触れ合いピアノを弾いて感性を磨く中で、「自分しかできない仕事を」という思いで、この

「長谷川社長は、ピアニストでいらっしやるそうですな。」
ええ。幼いころからピアニストを夢見ていました。それで東京の音大に入り、卒業後は地元・福岡に戻って父が手掛ける造園業を手伝っていたんです。花や緑と戯れるのは楽しかったですね。その中で父から教わったことを、今も大切にしているのですよ。

それは、どんなことですか。

「お客様の笑顔をよく覚えておけ」と言われたんです。人に喜んでもらうことをするのが商売だ、と。そうして、仕事への向き合い方を教わり、また、お花と触れ合いピアノを弾いて感性を磨く中で、「自分しかできない仕事を」という思いで、この

「HaseRiver」を立ち上げました。当社では「ヒューマン・エール」——人に喜んでもらうことをコンセプトにしております。



長谷川社長のピアノ演奏でCDも発売されている

「ヒューマン・エール」——人に喜んでもらうことをコンセプトに企画・コンサート、音楽・絵画・美容など、様々な分野に関する事業を展開している『HaseRiver』。同社の長谷川社長はピアニストであり、経営者であり、プロデューサーでもあり、いくつもの顔を持っている。そんな社長に、布川敏和氏がお話を伺った。



代表取締役

長谷川 ますみ

鹿児島県で生まれ、福岡県で育つ。幼いころからピアノに親しみ、小学生のころからピアニストを目指すように。音楽を学ぶために私立の中学・高校で寮生活を送り、東京の大学に進学したが、卒業後は地元に戻った。造園業を営む父親の仕事を手伝いながら、ピアニストとしても活躍。2020年に『HaseRiver』を設立し、様々な事業に挑戦中。

「花や音楽、絵画など様々なものを通して、多くの方々に笑顔になってほしい、という思いが原動力になっていくんですよ。今後は次世代の育成に力を注いでいきたいと思っています。自分自身がさりげなく、格好良く、楽しく生きている姿を見せることで、次の世代に夢を与えていきたいですね。」

「長谷川社長は、ピアニストでいらっしやるそうですな。」
ええ。幼いころからピアニストを夢見ていました。それで東京の音大に入り、卒業後は地元・福岡に戻って父が手掛ける造園業を手伝っていたんです。花や緑と戯れるのは楽しかったですね。その中で父から教わったことを、今も大切にしているのですよ。

「HaseRiver」を立ち上げました。当社では「ヒューマン・エール」——人に喜んでもらうことをコンセプトにしております。



布川 敏和 (タレント)

ゲストインタビュー

「様々な事業に取り組んでおられる長谷川社長。何屋さんになるのかとお伺いしたところ、『喜ばせ屋さん』との答えが返ってきました。お父様から受け継がれた、素敵なお考えですね。これからも頑張ってください！」



デザイナー・画家の真田彬氏を交えて記念撮影



株式会社 HaseRiver
福岡県福岡市南区那の川 1-13-6
A&Sビル 1F